

令和6年度 学校経営計画

石川県立小松瀬領特別支援学校
学 校 長 橋高 陽子

1 教育目標

- ① 児童生徒一人一人の障害の種類や程度、心身の発達及び個に応じた教育を進める。
- ② 児童生徒の主体性を育み、それぞれの能力や可能性の伸長に取り組む。
- ③ 自立を促し、共生社会の一員として健康で心豊かに生きる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 在籍する児童生徒のほとんどが重度重複障害であり、医療的ケアのニーズも増加・多様化している。児童生徒個々の教育的ニーズを的確に捉え、個別最適な学びのために、教職員は授業実践力等の専門性の向上に継続的に取り組むことが求められる。
- ② 児童生徒が「持てる力」を最大限に発揮できるよう、教材製作・活用に取り組み、G I G Aスクールの推進や外部専門家との連携等により、教育実践の質の向上を図っている。
- ③ 長年の教育実践の実績を踏まえ、医療、福祉、行政、労働、教育等の関係機関との連携、教育相談等をとおして、肢体不自由教育のセンター的機能の充実を図っている。
- ④ 本校教育活動への理解をより推進するために、日々の取り組みや成果の情報発信に努めるとともに、交流及び共同学習等を行っている。
- ⑤ 若手からベテラン教員までが協働して学校運営に当たっている。担当する多様な業務や当面する課題を可視化することによって、より効率的・協働的に業務を遂行し、学校全体を俯瞰して積極的に課題解決にあたる姿勢が望まれる。

(2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 健康・体力の保持増進に努め、生き生きと活動する児童生徒
- ② 人や物に興味・関心を持ち、自ら考え、主体的に関わる児童生徒
- ③ 周りとのコミュニケーションを楽しみ、望ましい人間関係を築く児童生徒
- ④ 自己の学びと将来を見通し、自立をめざして社会との繋がりを大切に生きる児童生徒

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 常に自身のアップデートを目指し、知識・技能の習得等、専門性向上に努める教職員
- ② 学校の特色を活かし、成果を集合させて、教育目標具現化に進む教職員集団
- ③ 特性を活かして業務にあたり、協働して業務改善や今日的課題に取り組む教職員
- ④ 関係機関との良好な連携を深め、地域や保護者から信頼される学校組織
- ⑤ 様々な危機への管理意識を持ち、実際に即した危機管理体制の確立を図る学校組織

3 今年度の重点目標

- ① 授業実践力の向上（個別最適な学びの実践、自立活動の充実、G I G Aスクールの推進）
- ② 安全・安心、生き活きた学校づくり（医療的ケア体制の強化、実際に即した危機管理、効率的・協働的業務の推進）